

2020年9月25日

各 位

### 中国石油国際事業日本株式会社との協業継続に係る最終合意について

当社（社長：大田勝幸）は、中国石油国際事業有限公司（PetroChina International Co., Ltd.、法人代表：田景恵、以下「P C I」）傘下の日本法人である中国石油国際事業日本株式会社（PetroChina International (Japan) Co., Ltd.、社長：万軍勇、以下「P C J P」）との合併会社である大阪国際石油精製株式会社（社長：竹下嘉昭、以下「O I R E C」）が運営する製油所を、現在の大阪製油所（所長：田中秀明）から、2020年12月に千葉製油所（所長：杉本高弘）へ変更の上、合併事業を継続することについてP C J Pと最終合意に至りましたので、お知らせいたします。

当社とP C J Pは、日本国内の石油需要の構造的減少が見込まれる一方、アジア・太平洋地域において今後石油製品需要が着実に増加し、ビジネスチャンスが拡大するとの見通しから、2010年10月にO I R E Cを設立の上、大阪製油所の運営を開始しました。

現行の合併契約が2020年9月末に期限を迎えることを踏まえ、両社は、当社の製油所運営能力と、P C Iグループの優れた製品マーケティング能力を相互に有効活用する戦略的枠組みを維持・存続させるべきとの認識の下、今後の協業のあり方について協議してまいりました。

当社グループ各製油所の機能・特質をはじめ多方面から検討を行った結果、千葉製油所の輸出能力を活用することが、アジア・太平洋地域におけるエネルギー安定供給の基盤強化を目指すO I R E Cの事業のさらなる発展に最も資するとの結論に至り、今般の最終合意に至ったものです。

合併事業を継続するにあたり、当社は大阪製油所をO I R E Cより会社分割によって取得し、新たに協業する千葉製油所を、同じく会社分割によって当社よりO I R E Cへ承継いたします。なお、大阪製油所は、2020年10月に精製機能を停止し、アスファルト発電設備を運営する事業所といたします。

今後も両社グループは、千葉製油所における安全操業・安定供給を継続していくとともに、これまでに培った強固な協力関係のさらなる発展に努めてまいります。

以 上



## <大阪国際石油精製株式会社の概要>

商号	大阪国際石油精製株式会社 (Osaka International Refining Company, Limited 略称: OIREC)
現所在地	大阪府高石市高砂二丁目1番地
新所在地	千葉県市原市千種海岸1番地(2020年12月1日~)
設立	2010年10月
社長	竹下 嘉昭
出資比率	ENEOS 51%、PCJP 49%

## <千葉製油所の概要>

所在地	千葉県市原市千種海岸1番地
操業開始	1968年10月
所長	杉本 高弘
従業員	372名(2020年4月30日時点)
敷地面積	144万m <sup>2</sup>
原油処理能力	129,000 バレル/日

## <大阪国際石油精製(OIREC)の資本関係図>

